

小中学校 家庭科の指導におけるICTの活用

県教育庁義務教育課

家庭、技術・家庭(家庭分野)における学習過程の参考例

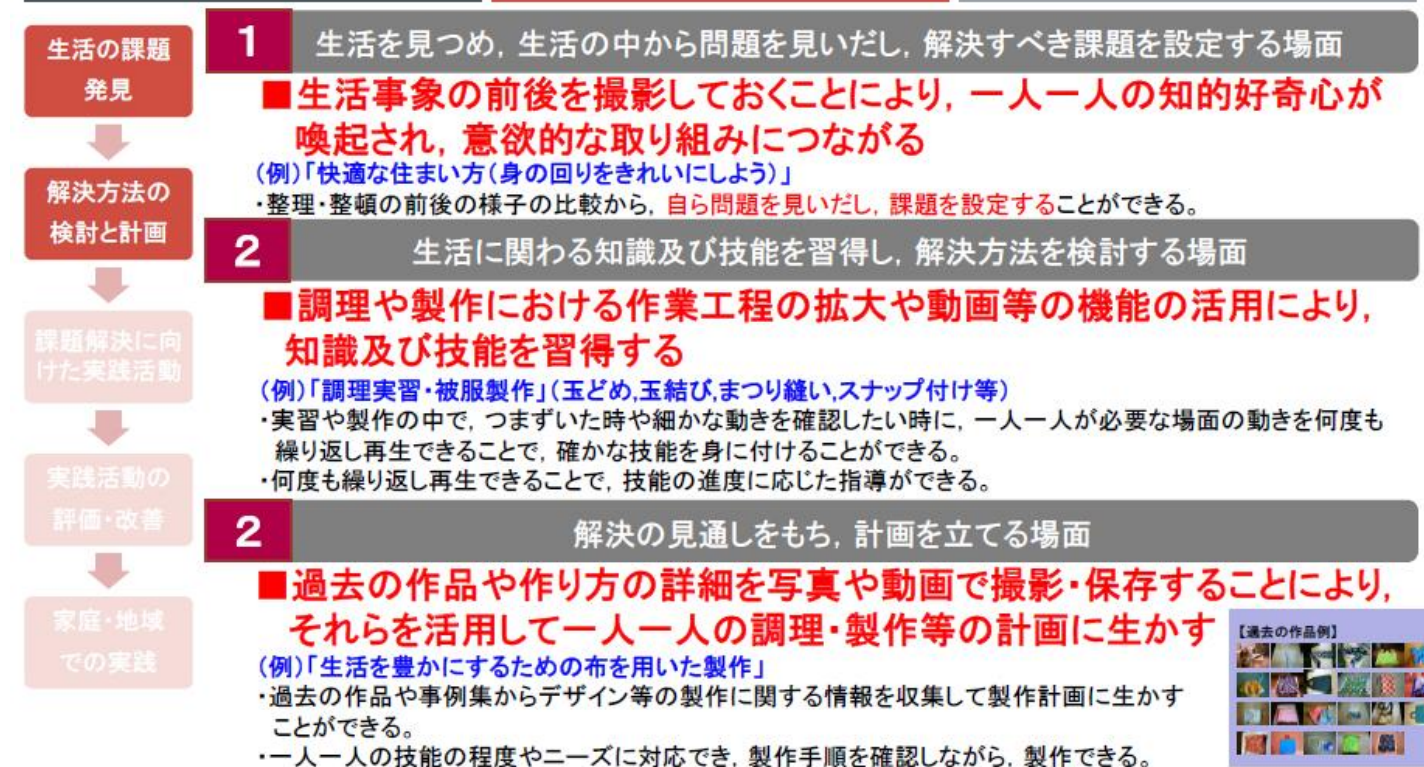
■学習過程とICTの活用の場面との関連

家庭科、技術・家庭科(家庭分野)の学習過程の参考例



※上記に示す各学習過程は例示であり、上例に限定されるものではないこと

家庭、技術・家庭(家庭分野)におけるICTの活用



3

生活に関わる知識及び技能を活用して

調理・製作等の実習や調査・交流活動などを行う場面

■様々な種類の料理や作品等を写真や動画で撮影・保存することにより、それらを活用して解決方法を検討する



(例)「献立作成」

- ・献立作成を行う際、「主食」「主菜」「副菜」「汁物」の料理の組み合わせについて、各自が情報収集し、何度も試行錯誤できる。クラス全体で共有し、考えを深めることができる。
- ・献立作成の際に、栄養のバランスや使用する食品の組み合わせ、概量等についてソフトを活用してシミュレーションしながら考え、検討することができる。

■撮影した動画により、各自の技能や考えを可視化し、技能の習得状況の把握や自己評価・改善に生かす

(例)「調理実習」

- ・自分の実習・製作の様子を撮影し合うことで、実際には観ることができない自分の様子を観て、技能の習得状況等を確認し、自己評価し改善に生かすことができる。

(例)「生活を豊かにするための布を用いた製作

- (衣服等の再利用)」
・裁断してしまうことで、原形が分からない場合に、どの部分を再利用したのかを説明したり、製作過程を説明したりできる。

4

実践した結果を評価・改善する場面

■撮影した動画により、自己の実習等の様子(言動)を可視化し、自己理解や自己評価・改善に生かす

(例)「幼児の生活と家族」

- ・動画を活用し、幼児との触れ合いの様子を記録に残すことで、自己の関わり方を振り返り、さらによりよい関わり方を考えることができる。
- ・幼児との触れ合いの観察記録から、関わり方の変化を自己評価し、次への改善策につなげることができる。

5

家庭や地域での実践活動を振り返り、評価・改善する場面

■家庭や地域での実践計画の記録を残し、実践の様子を撮影することにより、実践の成果を具体的に説明したり、実践の改善に生かす

(例)「生活の課題と実践」

- ・家庭や地域での実践の様子・成果を具体的に説明・報告ができる。
- ・実践の中での発見や疑問等について具体的な画像で説明することができる。
- ・自己評価・相互評価に活用できる。



ここに掲載した内容は、文部科学省 HP「各教科の指導における ICT の効果的な活用に関する参考資料」から抜粋したものです。詳しくは、下記文部科学省 HP をご覧ください。

https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/zyouhou/mext_00915.html